

目 次

第1部/提 言

コミュニティ生活を支えるもの——道路の問題——

前田 和甫… 1

- I 企画の主旨…………… 1
- II 生活の場での道路の基本機能…………… 3
- III 道路に対する住民の意見と期待…………… 6
- IV 問題解決の方策…………… 13

第2部/報 告

都市再生への期待 車と人の共存を求めて

岡 並木… 17

- 1. 人の寸法に合った町…………… 17
- 2. 荷物を持たばハンディキャップドと同じ…………… 20
- 3. 歩くことの大切さ…………… 22
- 4. モール（歩行者街路）の発達…………… 24
- 5. 誤った歩行能力の評価…………… 30
- 6. ミュンヘンの復活…………… 32
- 7. 低所得層への配慮，ミネアポリスの例…………… 35
- 8. ゾーニング方式の見直し，フランス・ルーアンの例…………… 37
- 9. 奥行き深い都市生活を…………… 41
- 10. 地方都市にもおよぶ中心部の過疎…………… 44

11. デルフトの実験，人と車の共存……………46
 12. 日本での試み，都市再生への期待をこめて……………48

第3部／座談会

都市の生活道路のあり方……………50

出席者 前田 和甫 五代利矢子
 岩尾 吉明 岡 並木
 司 会 日笠 端

はじめに……………51

1. 道路とは一体何なのか……………53

生活の場における切実な実感…54

おこなわれている日本の道路づくり…56

消防車も入れない危険地区…57

道路の絶対量の不足…58

ストックゼロから出発…60

逃げ出すダウンタウン…61

都心へのUターンもはじまっている…62

日本でも都心部の道路率はかなり高い…63

道路率は高くても使える道路が少ない…64

エンビツビル…64

2. 道路に対する意見と期待……………65

若い層への期待は大きい…66

変わるこれからの家庭生活…67

モビリティをもつことの可能性…68

道路空間の限界…69

日本の盛り場の魅力…69

自動車を使わないときの快適さ…70

住宅地での道路の現況…71

3. 問題解決の方策……………77

人と車の共存を求めて…77

ボンエルフ…80

法制度の問題…81

分離か、共存か…83

駐車違反の問題…85

歩行能力の評価…86

歩道橋問題…87

使われなかった地下道…89

幹線道路の沿道問題…90

地区計画制度の活用…92

歩道にはみ出す商品…92

4. コミュニティと生活道路.....93

誰が推進するのか...93

個人個人の自覚が必要...94

すべての住民の知恵を結集...96

高齢化社会に備えて...97

コミュニティ生活を支えるもの

—道路の問題—

前田和甫

東京大学教授

I 企画の主旨

コミュニティを、仮に日常生活の場と考え、生活の場を構成する基本的なハードな要素、住宅、公共の施設、上・下水道、電力、通信施設などとともに、その場所への出入（アクセス）を担う交通手段の充実も生活を維持していく上での最重要な一要素であることに異論はないであろう。

交通手段として、鉄道、地下鉄、新交通システム、路面電車、バスと自動車ないし自転車が考えられるが、鉄道は都市間交通の手段であり、地下鉄、路面電車は共に生活の場へのアクセス手段としては、大都市以外では通常期待できない。最近、大都市の周辺郊外に立地することの多い新興住宅地、いわゆるニュー・タウン等では、自動車を主なアクセス用の手段としている例が多く、居住者を近隣の仕事の場、都市に輸送するための道路の容量が不足するため、朝・夕の通勤時の混雑が深刻な状況に陥っている例が多数報告されている。

つまり道路は、そのような近郊住宅地に住む人々にとって外部との連絡